

## 校長室の窓から

5月2日は、本校の開校記念日です。本校は、明治6年上真山護勢寺を仮校舎に上真山小学校の名称で開校しました。現在の場所に校舎が建ったのは、明治18年、その後校舎を増築したり、建て替えたりして、今年度で開校142周年目となります。「真山小学校」の名称にしたのは、昭和20年のようです。

さて、校長室の戸棚から昭和20年代のある資料を見つけました。その中に昭和22年調べの真山地区の人口が3,299人、小学校の児童数は男260名・女254名・計514名との記載がありました。現在の真山の人口は、1,314人で、小学校の児童数は47名です。昭和22年頃から比較すると、人口が6割減なのに対して、児童数は10分の1以下になっています。児童数の減少状況を寂しく感じます。

かつては、たくさん子どもたちがこの校庭を狭く感じながら、賑やかに遊んでいたのだらうと想像できます。不思議に子どもたちの遊びながらの賑やかな声は、周りを元気にしてくれるように私は感じます。また、放課後に、大きな声を出し校庭を元気に駆け回り遊んでいる子どもたちの姿を見ていると、心も体も健康に育っていることを実感しうれしくなります。心を解放し、友達と思いっきり体を動かし遊べる環境は、子どもたちが育つ環境としてとても良い環境にあると考えます。ただし、本校の子どもたちも高学年になると、学習や児童会の活動、習い事等で放課後に遊ぶ時間が少なくなる状況にあることは残念な気がしています。

ある講演会で講師の先生が、「自然豊かな小規模の学校でこそ、理想的な教育が実現できるのですよ。」と話していたことを思い出します。真山は、美しい四季の変化を感じながら、ゆっくりのびのび生活できる環境です。また、地域の方々が子どもたちの顔を知っていて声をかけてくださる環境にあります。温かな人間関係の中で子どもたちは心豊かに育っていけるはずです。この上さらに、少人数学級の中で、丁寧な指導を繰り返すことで、子どもたちの学力も伸ばしていくことができれば、一人一人がすばらしい成長をとげていくことができるでしょう。

しかし、課題もあります。それは人との関わりの中で、競い合い切磋琢磨し伸びていく環境づくりです。小規模校の共通した課題でもあります。そのために、本校では、他校との交流、幼保小での交流、地域交流など様々な方法を取り入れています。中でも大事に考えているのは、5月24日(土)の「真山小学校・真山地区民大運動会」です。地域の方々と子どもたちの貴重な交流の場です。昨年度も大いに盛り上がり、子どもたちには楽しい思い出として残っているようです。今年度も、演技や競技で力を出し切り、また一緒に熱くなって応援し、大いに楽しみ盛り上がり、思い出に残る運動会にしたいと思っています。

5月 1日(木) ALT来校 街頭指導(学校職員) 安全点検

2日(金) 開校記念日

3日(土) 憲法記念日

4日(日) みどりの日

5日(月) こどもの日

6日(火) 休日

} 4連休

7日(水) 校外学習(大和町セントラル自動車見学:5,6年)

8日(木) 朝会, 心臓病検診(1年) 防犯教室・引き渡し訓練

9日(金) 午前授業 11:45一斉下校(大崎地区教育研究会実施のため)

12日(月) きらきら農園・野菜苗植え付け

13日(火) 1年鍵盤ハーモニカ講習会

15日(木) 街頭指導(学校職員)

19日(月) 職員会議

21日(水) 運動会総練習(地区館グラウンド)

24日(土) 真山小学校・真山地区民大運動会

26日(月) 振替休業日(運動会)

27日(火) 弁当の日(運動会が日曜日に延期になった場合、振替休業日になるため給食をストップしています)

29日(木) プール清掃(保護者)

30日(金) プール清掃(保護者)

## H26・5月の行事予定



【生活目標】○やるぞ 元気に運動だ

【保健目標】○自分の体を知ろう

【安全目標】○交通規則を守ろう

【給食目標】○給食の後片付けをていねいにしよう

